

柔道しずおか

平成19年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒431-0302 静岡県浜名郡新居町新居3035-6 石黒金次
TEL・FAX (053) 594-2403

【巻頭言】

教育の事 これより偉なるはなし

静岡県柔道協会副会長 七段 川中邦夫

名幹事長として大きな足跡を残された、永田重郎先生の後任として、今年度より中部地区幹事長の大役を仰せつかりました。中部地区は、県立武道館のお膝元でもあり、協会の諸行事や各種大会開催の要の地区としてその重責を全うしなければなりません。身の引き締まる思いですが、正直慣れないことばかりで、四苦八苦しているところです。

責任ある立場に立つてみて、改めて痛感するのは、多くの役員の方のご協力、ご支援がなければ何事も完遂することはできないということです。その点、それぞれの持ち場を不平一つ言わず、誠心誠意努めてくれるスタッフに恵まれていることは頼もしいかぎりです。

しかし、年毎に役員の高齢化が進み、今一つ若い先生方の審査会や月次試合の出席率が低下してきていることが心配でなりません。女子指導者の育成と

もに協会として取り組まなければならぬ大きな課題だと思いつきます。



藤南柔道塾の子どもたちに囲まれて

次々廃部に追い込まれている現状は黙って看過するわけにはいきません。

最近の世相に思いをはせれば、青少年の倫理観の喪失ぶりには憂慮せずには居られません。柔道大会でさえ、挨拶ができない、服装が乱れている生徒など目につきます。

事は試合の勝ち負けどころではありません。殺人・いじめ：毎日のように殺伐とした事件が後を絶たない時代の中にあつて一体何を信じて生きていったらいいのか、迷える青少年たちを救うのは、やはり私たち大人以外にはないのではないかと。

敗戦後の日 本は大変な食糧難・物資の欠乏した貧しい社会でした。しかし、そんな中にあつても精神的には今日よりもはるかに豊かな人間関係が築かれていたように思えてなりません。地域の人たちが助け合い、励まし合つて明るくたくましく生きぬいているのを見ながら育つた私たちは本当に幸せだったと思います。

恩返しの意味においても私たちの世代は若者たちが前向きに力強く育つよう導いていかなければならないと思ひます。残念ながら、不良行為を目にしても、見て見ぬふりをする大人が少なくありません。指導者の中にも、ルールを守らなかつたり、責任を果たさない人がいないわけではありせん。

今こそ先師嘉納治五郎先生の遺訓「精力善用・自他共栄」の精神に立ち返り、柔道指導は安易な勝利至上主義を戒め、礼儀正しい、誠実な青少年育成にこそ専心努力していかねければならないのではないのでしょうか。「教育の事天下にこれより偉なるはなし、一人の徳教広く万人に加わり、一世の化育遠く百世に及ぶ」嘉納先生の高邁なる理想を目指して、微力ではあつても、県下柔道人、共に手を携えて一歩一歩前進していこうではありませんか。

ます。少子化に伴う柔道人口の減少にもなかなか歯止めが利きません。特に中学・高校の柔道部が

本は大変な食糧難・物資の欠乏した貧しい社会でした。しかし、そんな中にあつても精神的には今日よりもはるかに豊かな人間

のじぎく兵庫国体青年男子上位進出ならず

今年度の国民体育大会は10月6日(金)～8日(日)兵庫県姫路市の兵庫県立武道館で開催された。静岡県勢は成年女子・少年男子・少年女子とも今一步のところで東海大会を勝ち抜くことができず、成年男子のみの本大会出場となった。

来年度こそは成年女子・少年男子・少年女子そろって本大会に出場できるように柔道協会総力をあげて取り組んでいきたい。

総務・コーチをされた静岡警察の渡辺達也さんから国体の報告をいただいたので掲載する。



◆国民体育大会報告

第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)柔道競技は、10月6日(金)から8日(日)の3日間、兵庫県姫路市の兵庫県立武道館で開催されました。本年の静岡県チームは、東海ブロック大会で少年男子・女子、成年女子が敗退し、唯一成年男子のみの出場となりました。メンバーは、4人が県警の選手で増田がセコ

第61回 国民体育大会

掬投に日下体をひねるも「有効」。日下は最後まで諦めずに攻撃を続け、残り10秒小内刈からの大外巻込で「有効」を奪い、引き分けとする。

【中堅(90kg級)】
小椋俊彦(県警機動隊) ×
引き分け

三宅浩之(立命館大学)

互いに左組の相四つで小椋は払腰、大外刈、大内刈を軸に攻める。一方相手は巴投、内股、袖釣込腰で互いに攻めるも決め手がなく互角の展開で引き分け。

【副将(90kg級)】
増田圭省(セコム) ×
引き分け

大金良一(了徳寺学園) 開始20秒、増田が仕掛けた低い姿勢からの右袖釣込腰で大金が横転「有効」が告げられる。その後、増田は巴投、袖釣込腰で攻めるも大金に後襟を持たれ、増田に圧がかかる。3分、増田に「指導」。3分30秒、後襟を持たれて大金の払巻込「有効」増田の袖釣込腰が崩れたところを横四方固に押え込まれるも5秒で解けて試合終了。引き分けとなる。

【大将(無差別)】
齊藤和仁(県警機動隊) ⊖
優勢負け(有効)

赤松佑輔(福岡大学) 互いに右組の相四つ、開始20秒赤松の大外刈「有効」。上方固で押え込まれるも10秒で解ける。2分、相手に「教育的指導」。3分30秒、齊藤が内股を掛けるも相手俯せで防ぐ。そのまま終了。有効負けとなる。

【代表戦】
増田圭省(セコム) ⊖
優勢負け(注意)

大金良一(了徳寺学園) 開始直後に増田が勝負を仕掛け、組際の相手に抱きつき左小外刈を掛ける。大金は右小外刈で切り返し、互いに力が入る技の応酬であったが両者倒れ込みポイントなし。その後、増田は巴投、袖釣込腰を仕掛けるが大金に技を潰される。2分20秒、大金に「教育的指導」。2分40秒、増田が袖釣込腰を掛けるも引き手がはずれ見せかけの技として、「指導」。3分20秒、増田に「教育的指導」。3分40秒、増田の右一本背負投が見せかけの技として「注意」を受け、そのまま試合時間終了、注意負けとなる。

★まとめ
結果的には代表戦の末、広島県に敗れましたが、勝つべき者がきつちりと勝ち、失点を最小

限に抑えておけば選手の実力からいって十分勝つことができた試合でした。今後は、さらなる技術の習得はもちろんですが、勝負に対する執着心・闘争心といったメンタルの部分の強化も必要であると考えます。

(文責 静岡県警・渡辺達也)

国民体育大会出場選手

成年男子

- 総監督 野田昭一(静岡学園高教諭)
- 監督 渡辺達也(静岡県警察)
- 監督 米山安基夫(静岡県警察)
- 先鋒 渡部成也(静岡県警察)
- 次鋒 日下徹朗(静岡県警察)
- 中堅 小椋俊彦(静岡県警察)
- 副将 増田圭省(セコム株式会社)
- 大将 齊藤和仁(静岡県警察)

東海大会県代表選手

- 成年女子
- 監督 渡辺達也(静岡県警察)
- 先鋒 望月加奈子(常葉学園高校教諭)
- 中堅 松本笑嘉(東海大学)
- 大将 岡田紘味(三井住友海上火災)
- 少年女子
- 監督 沼野由香利(藤枝順心高教諭)
- 先鋒 加賀谷千保(藤枝順心)
- 中堅 杉山絵美(市立沼津)
- 大将 村瀬晴香(庵原)
- 少年男子
- 監督 宮本昌人(常葉学園高校教諭)

先鋒 吉竹雄城(常葉学園橋)
 次鋒 関谷真樹(常葉学園橋)
 中堅 木下敦広(浜松商業)
 副将 本田真敏(浜松商業)
 大将 伊藤翔馬(市立沼津)

第3回全国小学生学年別柔道大会

平成18年8月20日(日)

富山県射水市小杉総合体育館

引率 望月秋男、佐藤有宏

男子監督 川島敏秀

女子監督 佐野義幸

(代表者は県大会優勝者)

○小学5年女子40kg級

伊奈郁乃(伊豆長岡柔道会) 第3位

○小学5年女子40kg超級

滝川真央(友愛道場) 予選リーグ1位

安枝香奈(大分)に敗れる。

○小学6年女子45kg級

岡本理帆(静岡錬心館) 予選1勝1敗

○小学6年女子45kg超級

村山のどか(神土館) 予選1勝1敗

○小学5年男子40kg級

杉山慎吾(静岡錬心館) 予選1勝1敗

○小学5年男子40kg超級

佐藤和哉(清水柔専塾) 予選1勝1敗

○小学6年男子45kg級

佐藤光将(清水柔専塾) 予選1勝1敗

○小学6年男子45kg超級

浅賀慎太郎(大仁柔道会) 予選2敗

第37回全国中学校柔道大会

平成18年8月19日~22日

高知県南国市立スポーツセンター

(代表チーム、代表者は県大会優勝チーム、優勝者)

男子団体試合

静岡学園中 予選リーグ敗退

女子団体試合

北浜東部中

準優勝

男子個人試合

55kg級 大石悠太(福田)ベスト8

60kg級 庄司史成(静学) 準優勝

66kg級 馬場康太(翔洋) 初戦敗退

73kg級 高田博文(静学) ベスト16

81kg級 久松達斗(翔洋) 初戦敗退

90kg級 平井亮輔(翔洋) ベスト16

90kg超級 新村侑暉(庄内) 初戦敗退

女子個人試合

44kg級 渡邊由貴(富士宮) 初戦敗退

48kg級 長嶋麻未(沼市中等部) 二回戦敗退

52kg級 白井道恵(新居) 初戦敗退

57kg級 福長 悠(三島南) ベスト8

63kg級 鈴木里穂(北浜東部) 初戦敗退

70kg級 山村瑞葉(北浜東部) 3位

70kg超級 小牧夏希(富士宮) ベスト8

第55回全国高等学校柔道大会

平成18年8月8日~12日

大阪府堺市金岡公園体育館

(代表チーム、代表者は県大会優勝チーム、優勝者)

会優勝チーム、優勝者)

男子団体試合 浜松商業高等学校

全国ベスト16 優秀校

女子団体試合 庵原高校

全国ベスト16 優秀校

男子個人試合

60kg級 吉竹雄城(常葉学園橋) 全国ベスト8

66kg級 関谷真樹(常葉学園橋) 全国ベスト8

73kg級 小林章太(東海大翔洋) 二回戦敗退

81kg級 土屋憲太(浜松商業) 全国ベスト8

90kg級 木下敦広(浜松商業) 全国ベスト16

100kg級 増田恭平(飛龍) 初戦敗退

100kg超級 中村弘士(東海大翔洋) 二回戦敗退

女子個人試合

48kg級 鈴木由紀乃(藤枝順心) 二回戦敗退

52kg級 加賀谷千保(藤枝順心) 二回戦敗退

57kg級 勝呂 綾(庵原) 二回戦敗退

63kg級 富永知慧(浜松商業) 初戦敗退

70kg級 中尾彩乃(東海大翔洋) 初戦敗退

78kg級 佐藤文香(静岡学園) 初戦敗退

78kg超級 村瀬晴香(庵原) 初戦敗退

第48回

静岡県柔道祭

静岡県柔道協会表彰
特別功労賞

八段 池上泰司

七段 永田重郎、山本次郎

功労賞

七段 藤野公一

五段 深田静悦、田中 隆

菅尾信義、山下正幸

四段 柳澤文之、今野英一

四段 下山隆伸、金原雅樹

三段 小林忠史、山本洋一

二段 大橋久夫

二段 木村 旭、長谷川伸博

優秀選手賞

稲葉統也3段(静岡柔道倶楽部)

第20回全日本視覚障害者柔道大会男子81kg級 第2位

大会男子81kg級

本年度の柔道祭が5月7日(日)静岡県武道館を会場に行われた。恒例の柔道協会表彰に続き、優秀選手として第20回全日本視覚障害者柔道大会男子81kg級で第2位に入賞した稲葉統也3段(静岡柔道倶楽部)と、第19回近代柔道杯全国中学生柔道大会男子団体戦で全国第2位に入賞した静岡学園中学校の表彰が行われた。

その後各会場で熱戦が展開された。各種目の結果は以下の通りである。

石黒金次 柔道協会事務局長

マスターズ3連覇!!

柔道協会の事務局長を務めている石黒金次さんがマスターズ柔道大会で3連覇を達成した。



静岡県で第1回大会が開催されたマスターズ柔道大会だが、今年度は第3回大会が岡山県で行われた。石黒さんは六十五~六十九歳、六十~六十歳以下の部で3連覇を成し遂げた。忙しい柔道協会の仕事の傍ら、地元石黒道場で子供たちを指導し、ご自身スポーツジムで鍛えながらの快挙でした。

静岡学園中学校

第19回近代柔道杯全国中学生

柔道大会男子団体戦 第2位

監督 五段 渡部直樹

大将 初段 関根龍成

副将 初段 高田博文

中堅 初段 大木英司

次鋒 初段 庄司史成

先鋒 1級 吉澤 駿

補員 1級 杉山 潤

補員 1級 伊久美 新

補員 1級 大木恭介

講道館柔道形の部優秀賞

固の形 取五段 森下良男

受五段 山下朝司 (浜北体育協会)

護身術 取六段 渡辺達也

受六段 小野瀬康行 (静岡県警察)

五の形 取七段 西島温行

受七段 磯部正博 (福田柔道クラブ)

副将 初段 高田博文

中堅 初段 大木英司

次鋒 初段 庄司史成

先鋒 1級 清水柔専塾

補員 2位 大仁柔道会

補員 3位 神士館

補員 3位 伊豆長岡柔道会

中学校の部 (男子)

1位 静岡学園中学校

2位 東海大学付属翔洋中学校

3位 長岡中学校

育誠館道場

中学校の部 (女子)

1位 北浜東部中学校

2位 東海大学付属翔洋中学校

3位 富士宮第一中学校

3位 三島柔道会

高校の部 (男子)

1位 浜松商業高校

2位 東海大学付属翔洋高校

3位 静岡学園高校

3位 沼津市立高校

高校の部 (女子)

1位 静岡学園高校

2位 藤枝順心高校

3位 東海大学付属翔洋高校

一般の部

1位 東海翔柔クラブ

2位 静岡県警察

3位 富士宮柔道会

3位 滝井道場

優秀選手

佐藤光将 (清水柔専塾)

浅賀慎太郎 (大仁柔道会)

中学校の部 (男子)

庄司史成 (静岡学園中学校)

平井亮輔 (東海大学付属翔洋中学校)

中学校の部 (女子)

鈴木理穂 (北浜東部中学校)

瀬川直莉 (東海大学付属翔洋中学校)

高校の部 (男子)

寺田幸弘 (浜松商業高校)

中村弘士 (東海大学付属翔洋高校)

高校の部 (女子)

増田奈美 (静岡学園高校)

足立由美 (藤枝順心高校)

一般の部

曾根由多 (東海翔洋クラブ)

本田洋一郎 (静岡県警察)

都道府県対抗 第22回全国女子柔道大会 連続入賞ならず

昨年久しぶりに入賞し、今年も挑んだ大会であったが、残念ながら2回戦敗退だった。監督を務めた左口先生よりレポートをいただいている。

平成18年6月16日から18日 岡山県武道館

監督 左口直人 (県立天竜林業高校教諭)

コーチ 鈴木美穂 (名城大学)

大将 岡田紘味 (三井住友海上火災)

副将 松本笑嘉 (東海大学)

中堅 芹沢誠子 (国際武道大学)

次鋒 川口有紀 (静岡県警察)

先鋒 望月加奈子 (常葉学園橘高校教諭)



予選リーグ

静岡県0-2茨城県、静岡県4-0香川県 予選リーグ1勝1敗

決勝トーナメント進出ならず

★総評

茨城県との試合では前2人でポイントを取る作戦であったが、審判の問題もあり残念だった。副将以外は力の差はほとんど無く、組み合わせ次第では上位に進出できる力は十分にあったと思われる。香川県とは力の差があり、「あつ」というまに終わってしまった。

優勝した兵庫県、茨城県以外のチームなら1点勝負ができるように感じた。今後は多くの出



永田重郎先生体育賞受賞を祝う会開催

平成18年6月23日(金)

ホテルアソシア静岡ターミナル

県柔道協会の事務局長・副会長や中部地区の幹事長などを務めた、永田重郎先生が静岡県体育協会「体育賞」を受賞され、その祝賀会が開催されました。100名を超える参加者があり、齊藤静岡県体育協会会長を始め多くの来賓を迎え華やかに行われました。安齋先生の乾杯で和やかな歓談に入り、多くのテーブルで永田先生をたたえる会話がなされていました。

場機会を大学生に与え、2年後3年後に目を向けたチーム作りをする必要があると強く感じた。

第60回静岡県民スポーツ祭 柔道競技会

平成18年11月12日(日)

浜北総合体育館(グリーンアリーナ)

今年度の県民スポーツ祭柔道競技が浜北総合体育館(グリーンアリーナ)で行われた。市町村合併が推進され、従来の形で行われる最後の県民スポーツ祭となった。来年度は今のところ詳細は未定だが、全県的に行うのではなく、各地区で実施されるようである。

最初に静岡県柔道協会表彰が行われ、全国大会や国際大会で活躍された1団体(監督1、選手4)と4個人に記念品と賞状が授与された。今後の活躍が期待される若い選手たちの活躍を称えらるとともに、今後の活躍を期待したい。

続いて、「形」の演技が行われた。昨年度より行われているが一段とレベルが上がっているように思われた。東部・中部・西部の小学生各1チーム参加し、投げの型を披露してくれた。そ

の後、各部門の試合が開始され、熱気のこもった試合が展開された。

柔道協会表彰

◆優秀選手

○第37回全国中学校柔道大会

女子団体第2位

浜松市立北浜東部中学校

監督 3段 筒井信行

大将 1級 西澤由里

中堅 初段 山村瑞葉

先鋒 初段 鈴木理穂

補欠 1級 鈴木なつみ

○第37回全国中学校柔道大会

女子70kg級

第3位 山村瑞葉

(浜松市立北浜東部中学校)

○第37回全国中学校柔道大会

男子60kg級

第2位 庄司史成(静岡学園中学校)

○第3回全国小学生学年別柔道大会

小学5年生女子40kg級

第3位 伊奈郁乃(伊豆長岡柔道会)

○第9回全日本女子ジュニア柔道体重別選手権大会

52kg級 第3位 加賀谷千保

(藤枝順心高等学校)

◆試合結果

成年の部(市対抗)

1位 総合警備保障浜松

2位 東海翔柔クラブ

3位 藤枝柔道倶楽部

3位 富士市柔道会

成年の部(町村対抗)

1位 長泉柔道会

2位 引佐町士道会

3位 小笠柔道クラブ

少年A男子の部(市対抗)

1位 静岡学園高校

2位 天竜林業高校

3位 浜松工業高校

3位 藤枝明誠高校

少年A男子の部(町村対抗)

1位 新居高校

2位 引佐高校

3位 周智高校

少年A女子の部(市対抗)

1位 静岡学園高校

2位 沼津市立高校

3位 藤枝順心高校

3位 浜北西高校

少年A女子の部(町村対抗)

1位 庵原高校

2位 新居高校

少年B男子の部(市対抗)

1位 長岡中学校

2位 静岡学園中学校

3位 浜松養神館

3位 亀玉中学校

少年B男子の部(町村対抗)

1位 細江中学校

2位 福田柔道クラブ

3位 吉田中学校

3位 相良中学校

少年B女子の部(市対抗)

1位 富士宮第一中学校

2位 沼津市立高校中等部

3位 東海大学翔洋中学校

3位 三島柔道会

少年B女子の部(町村対抗)

1位 新居中学校

2位 菊川柔道スポーツ少年団

3位 福田柔道クラブ

3位 三ヶ日中学校

少年C(市対抗)

1位 神土館

2位 大仁柔道会

3位 高山柔道塾

3位 清水柔専塾

少年C(町村対抗)

1位 新居町柔道少年団

2位 清水町柔道会

3位 福田柔道クラブ

3位 引佐士道会

◆形演技者

東部地区 取 佐野将太

受 加藤龍太郎

(富士市柔道会)

中部地区 取 鈴木健太郎

受 杉本寛太

(藤枝柔道倶楽部)

西部地区 取 河合大樹

受 川合崇之

(浜北スポーツ少年団)

第31回全国教員柔道大会

平成18年7月30日

監督 高田和夫(富士東高)
大将 山崎大介(富士宮北高)
副将 井口往彦(横須賀高)
中堅 亀尾信太郎(袋井高)
次鋒 小塚直哉(飛龍高)
先鋒 佐野 薫(清水東高)
1回戦シード
2回戦 静岡県2-3長崎県
2回戦敗退

平成19年 静岡県柔道選手権大会兼 全日本柔道選手権大会 予選会

平成19年2月11日(日)

静岡県武道館

男子の部

第1位 増田圭省(セコム)

第2位 小椋俊彦(県警機動隊)

第3位 齊藤和仁(県警機動隊)

1位の増田さんと2位の小椋

さんが東海大会に出場する。

女子の部

第1位 横溝早苗(協栄興産)

第2位 村瀬晴香(庵原高校)

推薦の岡田紘味(三井住友海上)

さんと横溝さんが東海大会に出場する。

第1回柔道整復師養成学校柔道大会

平成18年5月28日(日)
浜松市武道館

第1回柔道整復師養成学校(静岡県下の柔道整復師を養成する4専門学校)の柔道大会が開催された。静岡医療学園専門学校、専門学校白寿医療学院、常葉学園医療専門学校、常葉学園医療専門学校の4校が今回参加し、先鋒と次鋒が無段者、中堅、副将、大将が有段者という変則の団体戦で実施された。観戦された永田泰三さんより、「非常に熱のこもった接戦が多く、個々の対戦では紙一重であり、特に白帯の試合では真剣さ必死さを感じ、柔道を始めた頃を思い出しました。」というコメントをいただきました。来年度以降ますます盛んになることを期待したいと思う。

- 優勝 静岡医療学園専門学校
- 準優勝 専門学校浜松医療学院
- 3位 専門学校白寿医療学院
- 4位 常葉学園医療専門学校

平成18年度東海ブロック少年柔道競技者育成事業

第4回少年(小学生)柔道強化合宿開催される

平成18年7月15日～17日
浜松市浜北総合体育館



東海4県の個人戦で上位入賞を果たした強化指定選手100名と、一般参加の小学生100名が参加した東海ブロックの強化合宿が3日間の日程で行われた。

初日は会場である浜北総合体育館で開校式が行われ、早速練習が開始された。一日目の夜には「柔道の歴史」を学ぶという特別講座が実施され、テキストを参考に学習を深めた。

2日目は、午前中はかつて世界学生柔道選手権大会で優勝した地元清水東高出身の石川裕章先生の立ち技の柔道教室と、午後はバルセロナオリンピックの銀メダリスト地元浜松西高校出身の溝口紀子先生の寝技を中心にした柔道教室が行われた。

3日目は東海ブロック少年学年別柔道大会として、個人戦のリーグ・トーナメント戦に熱い戦いが繰り広げられた。



参加者の感想文を載せておく。

静岡県 村山のどか

私は、強化合宿に参加して、今まで自分が知らなかったいろいろな事を学びました。

一つ目は、柔道の基本です。柔道の事は、いろいろ知っていてもつもりでしたが、まだまだ知らない事がたくさんありました。一日目は、水野先生に、正しい自然本体をおそわりました。その他にも、前方回転や横うけ身転は、一本の線の上を通るのがとてもむずかしくて、五回ぐらい練習して、やっと通れるようになりました。この一日の練習は、水野先生におそわった事を注意してやりました。でもこの練習の中でやったらんどりやうちこみは、自分の力を全て出せませんでした。だから、二日目は、がんばって練習しようと思

ろがあつて、知らずに入ったら、がくんとなつてびっくりしました。おふろから出たら、学習会をやりました。自分で調べてパ

ンフレットに書きました。自分は、最後の方まで残ってしまつて、一番最後まで残ってしまつたらどうしようと思ひながらがんばつて調べました。

学習会が終わわり、部屋にもどつて、九時四十五分ごろには、もうねていました。

朝になつて、トレーニングをしました。そして、バスで練習場へ行きました。この練習は、午前と午後にわかれてやりました。午前の柔道教室では、石川先生に立ち技をおそわりました。

先生の大外がりはとても上手でした。引き手を、へそまで引いてなげると、大きな相手でもらくになげることができました。午後は、溝口先生という女の先生に、ね技をおそわりました。

他にも、フランス流のトレーニングやはんかちおとしをやりました。私は、溝口先生のような人になりたいと思いました。午

前と午後は、柔道教室とは別に、元立もやりました。六年生の相手が強い人ばかりだったので東

海大会で優勝できるかととても心配です。

山下泰裕わんぱく柔道教室 開催される

2006年

平成18年8月13日(日)

10時から12時50分
(静岡県武道館)



事前に申し込んだ道場や中学校・高等学校の児童・生徒約400人強が参加した。指導者としては東海大学教授山下泰裕先生、東海大学助教授中西英敏先生、東海大学講師上水研一朗先生の3名と東海大学関係者15名程度、そして静岡県柔道協会の関係者が協力した。開会式に続き、山下先生の講話があり、その後上水先生の指導で準備運動が行われ、大外刈りの山下先生、内股

の上水先生、背負い投げ中西先生の3講座に別れての指導が行われた。最後に乱取り稽古が行われ、参加者は気持ちの良い汗を流していた。

閉会式では、東海大学付属翔洋中学校の平井君がお礼の言葉を述べ、3人の先生方に花束を贈呈し終了した。

山下先生の講話

小学校4年で柔道を始めたことから話を始められ、中学校での白石先生との出会いの中で柔道を通じて山下先生が得られたことから話された。

柔道で強くなるだけでなく、将来、社会で役立つ人間になることが大事である。強くなるためには「素直さ」が必要である。大きな「夢」「ロマン」を持ちなさい。

その他、柔道ルネッサンス活動についてその目的等を分かりやすく話をしていただいた。



訃報

静岡県柔道協会顧問 三段

永原 稔 先生

平成18年12月18日逝去 享年85歳

先生は、大正十年四月二十一日秋田県に生まれる。父の勤務地である静岡市にて少年時代を送り、旧制静中・静岡を経て東京帝国大学法学部卒業。昭和十八年学徒出陣、マレー半島戦線へ。昭和二十二年復員、静岡県庁勤務、静岡県副知事、参議院議員を歴任。

旧制静岡高等学校時代、柔道部に入部。故大蝶美夫先生に師事、主将として活躍。柔道への情熱止みがたく、旧制静岡柔道部OB会志魂会々長として、後進育成に多大の貢献を果たした。その高邁な志と温厚篤実な人格は政官界のみならず、幅広く人望を集められた。まさに巨星落つの感、その御遺徳を末永く後世に伝えていきたい、衷心より御冥福をお祈り申し上げる。

合掌。



永原 稔 先生

道場紹介

どうじょう

じょうかみ

県内各地でがんばっている「道場」を
各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

東伊豆柔道会

- ②〒413-0411 賀茂郡東伊豆町稲取1300-1
- ③☎0557-95-0349
- ④会長 鈴木 精
- ⑤児童2名 小学生17名 中学生3名
社会人15名

⑥道場紹介
平成6年から前会長の後を継いだ現在の東伊豆柔道会は、県立稲取高校の格技場を間借りし、週3回の稽古に励んでいます。
指導者は、当柔道会出身者で有り、和気あいあいの内にも秩序は守られ、又、稽古時だけでなく日常生活でも子供達に声を掛け、時には厳しく叱咤することにより、信頼されていると思われまます。



指導方針については、礼儀は基より技は基本に忠実で一本が取れる柔道が習得できるように心がけ、最終的には柔道が好きになり、この先ずっと柔道が続ける事のできる子供達を育成しようという取り組みをしています。

伊東柔道会

- ②〒414-0046 伊東市大原町2丁目2の6
伊東市大原武道場内
- ③☎0557-45-0924 (三代方)
- ④代表 三代 照和
会長 杉山 吉一
- ⑤児童2人 小学生20人 中学生4人
高校生1人 大学生1人
社会人男12人女6人

⑥道場紹介
戦前に伊東市内の柔道愛好者が集まり、「伊東柔道倶楽部」を創設以来、現在の「伊東柔道



会」は、大原武道場において、先輩諸氏の伝統を受け継ぎ、柔道の真髄、心・技・体に近づくべく、その精神の元、基礎練習を中心に幼児から大人まで週3回の稽古に日々励んでいる。
平成18年に、全日本男子柔道部監督、斉藤仁先生をお迎えしたの柔道教室は、個々の柔道への思いをさらに熱くし、より高い目標を持つ、とても良い機会になった。
互いを尊重し、切磋琢磨する毎日を送っている。

藤枝柔道倶楽部

- ②〒426-0025 藤枝市藤枝3-9-29
- ③☎054-643-8416
- ④渡辺 篤司
- ⑤小学生30人 中学生7人

⑥道場紹介
藤枝柔道倶楽部は、現在小学生30名、中学生7名の部員構成で、火、木、土曜の週3回、藤枝市武道館にて稽古に励んでいます。

団体戦では、3月に行われた全国少年柔道選手権静岡県予選で3位に入賞し、また、第15回日整全国少年大会の静岡県代表メンバーに、当倶楽部から2名が出場し、全国ベスト16進出に貢献しました。
今後も「礼節」を一番に重んじ、中学、高校、大学、社会人と、柔道が続ける選手が一人でも多く育つよう指導していきたくと思います。





⑥道場紹介
静岡の西南に道場を開場したのは一九六八年、時の県柔道協会長大蝶九段に道場名について相談ののって戴きましたが、道場開場にお迎えできずお亡くなり大変残念でした。

滝井道場

- ②〒421-0103 静岡市駿河区丸子3丁目6番7号
- ③☎054-259-8343
- ④龍井 康次郎
- ⑤小学生15名 中学生25名 高校生10名 大学・社会人40名



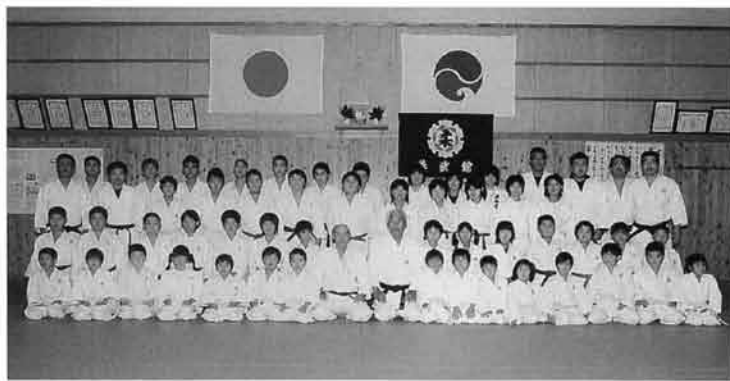
稽古日の月・水・金には小、中、高、女子、社会人と橋本六段、熊谷七段、杉本六段を中心に礼儀正しくかつ楽しく練習に励んでいます。先輩や女子指導者も進んで後輩の相手になり若者を育てています。
又熊谷、杉本指導者は講道館柔道の形について研究し若者に継承しています。
夏には小学生上級生が計画を立て、道場において合宿を楽しみ翌朝はラジオ体操、道場の清掃をします。暮には中学生が中心になり、大掃除をして新年を迎えます。
皆、仲よく明るい人生を柔道を通じて学んでもらいたいです。

⑥道場紹介
昭和27年北浜体協柔道部として発足、北浜小学校講堂に32畳の畳を敷いて始まり、昭和40年には少年部が柔道スポーツ少年



浜北柔道協会 浜北柔道スポーツ少年団

- ②〒434-0037 浜松市沼248-1 (一瀬接骨院)
- ③☎053-586-5646 (理事長 一瀬 誠)
- ④会長 小出 裕一
- ⑤児童5人 小学生47人 中学生38人 高校生30人 大学・社会人60人



団として発足しました。現在は北浜武道館において毎週水・土曜日の2回、午後7時から9時30分まで稽古を行い、小学生には「基本」を覚えることに重点を置き、将来につながる指導をしています。
また、平成17年4月よりスイス柔道クラブとの交流を行っており、平成19年8月には、スイスへ行く予定です。
国体柔道競技の開催地でもあります。

⑥道場紹介
養武館は、昭和40年4月29日師範 刑部小平先生が中心となり町内有段者に協力を呼びかけ、畳を寄付して頂き(各自の段数×畳一枚)、青少年の健全育成を目標として創設されました。
毎週火、金曜日の午後7時から8時30分まで、篠原中学校内にある養武館道場にて「精力善用・自他共栄」の精神に基づき柔道を通して規律、礼法又相手の立場が理解できる柔らかな心を養うことを重点に置き練習に励んでいます。

浜松市スポーツ少年団 養武館

- ②〒431-0201 浜松市篠原町22497番地
- ③☎053-447-4702
- ④師範 刑部 小平
理事長 山崎 陸雄
指導者 11名
- ⑤児童8人 小学生31人 中学生13人 社会人11人



新人選手紹介コーナー

今年度活躍した期待の若い選手を紹介する。今年度も若手選手の活躍状況は、昨年度に続いて完全に女性がリードしていた。しかし、今年は男子も久しぶりに登場する。団体として第19回近代柔道杯全国中学生柔道大会で準優勝した静岡学園中学校チームと、第37回全国中学校柔道大会男子60kg級で準優勝した庄司史成君（静岡学園中学校）である。

女子選手は、団体としては第37回全国中学校柔道大会女子団体戦で準優勝した浜松市立北浜東部中学校だ。個人では第37回全国中学校柔道大会女子70kg級で準優勝した山村瑞葉さん（浜松市立北浜東部中学校）、第3回全国小学生学年別柔道大会小学5年生女子40kg級第3位の伊奈郁乃さん（伊豆長岡柔道会）、そして第9回全日本女子ジュニア柔道体重別選手権大会52kg級で第3位に入賞した加賀谷千保さん（私立藤枝順心高等学校）である。今年度は以上の団体2、個人4人を紹介する。

団体



監督より
全国大会で勝つために「楽しく」を意識して練習してきた。練習時間も顧問が設定したより部員の方が多く求めてきてくれ、平日は1日4時間、土日は8時間位練習した。3年生二人が良くがんばり、責任を果たしてくれたのは立派です。

浜松市立北浜東部中学校
◎第37回全国中学校柔道大会
女子団体戦 準優勝
監督 3段 筒井信行
大将 1級 西澤由里
中堅 初段 山村瑞葉
先鋒 初段 鈴木理穂
補員 1級 鈴木なつみ

静岡学園中学校
◎第19回近代柔道杯
全国中学生柔道大会 準優勝
監督 5段 渡部直樹
大将 初段 関根龍成
副将 初段 高田博文
中堅 初段 大木英司
次鋒 初段 庄司史成
先鋒 1級 吉澤 駿
補員 初段 杉山 潤
補員 1級 伊久美新
補員 1級 大木恭介

決勝トーナメントを戦う大会は無いのでどこまで上がれるか不安であった。遠征・合宿と重ねただけあって調子は良く実力以上の結果で準優勝することができた。全国大会で初の入賞ということもあり生徒だけでなく私自身も自信がついた大会となった。
毎日の練習は基本練習を多く取り入れ、打ち込みや投げ込みを大切にしている。ここ一番の集中力を出すために短い時間で集中した練習を心掛けています。

来年度はまた違ったチームの目標に向かってチーム作りをし、がんばっていききたいと思っている。



個人



庄司 史成君
(静岡学園中学校3年)

◎第37回全国中学校柔道大会
男子60kg級準優勝

しばらくぶりの男子選手の登場です。柔道を始めたきっかけは、小さいころお兄さんが柔道をやっており、つられて始めたのがきっかけで柔道の道に入っただけです。

「決勝まで進出したので、勝って全国一になりました。」と語っています。この夢はぜひ高校でかなえてほしいものです。本人も「この全国2位という記録より上を目指してがんばりたい。」と決意を述べています。顧問の渡部先生より「常に一生懸命練習し、気性の強い生徒。ここ一番という大事なときに力を発揮することができる。素材

としてはすばらしく、これから本人の努力で将来は日本を代表する選手になる可能性は十分あると思う。」という心強いコメントをもらっています。



山村 瑞葉さん
(浜松市立北浜東部中学校3年)

◎第37回全国中学校柔道大会
女子70kg級準優勝

昨年度に続いての登場です。

昨年この大会で3位入賞をしていたので、今年こそはという気持ちで大会に臨んだそうですが、残念ながら昨年と同じ準決勝で敗退して3位でした。本人のコメントも「昨年と同じ順位なのでとりあえずホッとしたが、優勝を目指していたので悔しかったです。」とのことで、山村さんの悔しさが伝わってきます。「高校では日本一になりたい」

という決意を胸に持ち、新しい場での生活を始めていくことになりそうです。

顧問の筒井先生より「3年間本当に熱心に練習に取り組みることができました。彼女が持っている素質でやさしい性格が能力を發揮させたと思います。」とのコメントをいただいております。インターハイでの活躍を大いに期待したいものです。



伊奈 郁乃さん
(伊豆長岡柔道会 5年生)

◎第3回全国小学生学年別柔道大会
小学5年生女子40kg級
第3位

柔道を始めたきっかけは柔道を始めた兄をみて、強くなりたくて始めたそうです。入賞後の感想としては「試合が終わってすぐは全国3位ですごくいいの

なあと思っていたけど、考えてみると日本で3番目に強いということがわかってすごいなあ、気持ちいいなあと思いました。とつてもうれしかったです。」と小学生らしい素直な感想を書いてくれました。中学生になっても柔道を続け全国大会に行けるように練習をがんばりたい、3人兄弟みんなで柔道を続け、将来は柔道の監督になりたいという夢を持っているそうです。

指導されている先生からは「精神的な面、肉体的な面共にまだ幼い為、両面の成長と技術の向上が伴えば、もう一ランク上の成績を残せるように思います。」とのコメントをいただいています。

加賀谷 千保さん
(私立藤枝順心高等学校1年)

◎第9回全日本女子ジュニア柔道体重別選手権大会52kg級
第3位

柔道を始めたきっかけはお父さんにすすめられたからだそうです。入賞の感想は「まさか入賞できるとは思ってもいなかったのでも驚きました。しかし、このような大会で入賞でき

たので自信ができました。今まで私を支えてくださった先生方や両親にとっても感謝しています。顧問の沼野先生に出会えてよかったです。」という感想を述べています。

今後については「これからも順心高校で柔道をがんばります。まだまだ私は力不足なので日々努力して日本一になりたいと思っています。」と謙虚にそして熱い思いを語ってくれました。

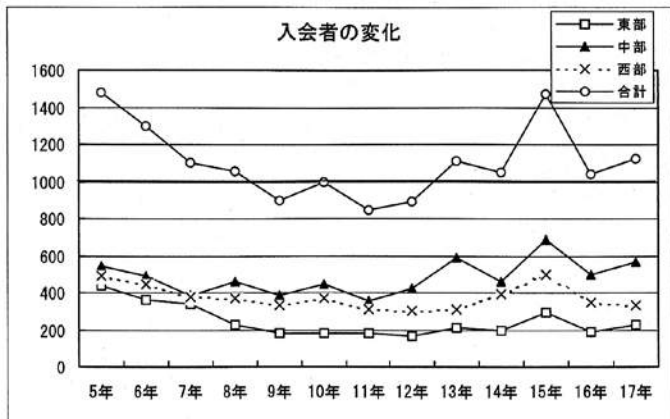
顧問の沼野先生より「真面目で素直さのある選手なので、最大目標に向かってこれからはがんばってほしいと思います。」とエールを送られています。



柔道人口を増やそう

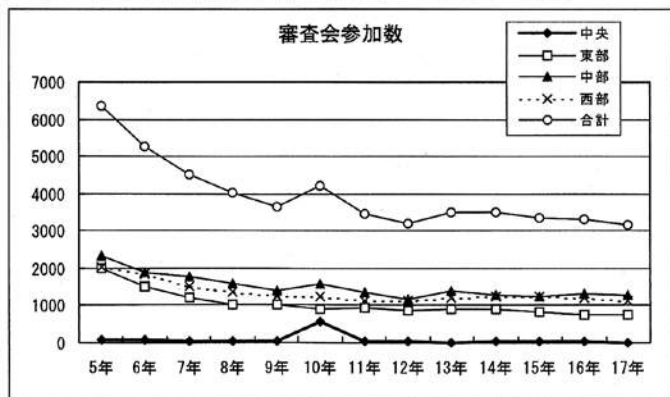
■入会者数

	東部	中部	西部	合計
5年	438	545	494	1477
6年	360	494	447	1301
7年	342	384	376	1102
8年	224	462	370	1056
9年	184	388	329	901
10年	183	445	367	995
11年	181	358	307	846
12年	163	421	303	887
13年	210	589	312	1111
14年	198	459	394	1051
15年	292	685	495	1472
16年	189	500	350	1039
17年	229	565	331	1125



■審査会参加数

	中央	東部	中部	西部	合計
5年	57	1986	2317	2014	6374
6年	59	1509	1886	1832	5286
7年	43	1192	1755	1519	4509
8年	47	1029	1582	1368	4026
9年	39	998	1375	1246	3658
10年	546	885	1562	1233	4226
11年	30	951	1344	1137	3462
12年	36	857	1178	1120	3191
13年	8	914	1393	1186	3501
14年	38	902	1294	1254	3488
15年	33	812	1257	1250	3352
16年	43	753	1322	1212	3330
17年	18	746	1290	1116	3170



県柔道協会の会計を担当している橋本さんから柔道人口に関する資料が示された。静岡県の柔道人口を考えるのに貴重な資料なので引用する。

中央審査会は4段以上の受験者を意味しており、将来の静岡県柔道協会を支えてくれるはずの人材だ。平成10年は別として、長期的には減少傾向が見られ、今後の柔道発展を考えると心配になるデータである。

柔道協会への入会者については、一時の不振を脱して何とか、1000人ラインを維持している。新入会者数は、昇段試験を受ける第一歩であるから、この数が柔道人気の目安になる。部員不足や指導者の不在で中学校や高校の柔道部が廃部になるケースも多いが、何とか新入会者を維持していく努力が必要になる。

審査会の受験者数については、各地区ともここ数年は安定している。ただ、時には受験者が少

なく組み合わせに苦労するという話も聞くことがある。

柔道協会では新入部員勧誘ポスターを作ったり、柔道の目的を印刷した資料を配布したりとできることは始めている。道場・中学校・高校・大学・企業など、一人でも柔道を始める児童生徒を増やしていきたい、柔道の底辺を広げていこうではありませんか。



高校新人柔道大会速報

- ◇女子団体(1月20日)
- 優勝 庵原高校
 - 第2位 藤枝順心高校
 - 第3位 東海大付属翔洋高校
- ◇男子団体(1月27日)
- 優勝 静岡学園高校
 - 第2位 東海大付属翔洋高校
 - 第3位 浜松商業高校
 - 第3位 飛龍高校
- 優勝チームが3月21日に東京日本武道館で行われる第29回全国高等学校柔道選手権大会に静岡県を代表して出場する。(昨年からは新人戦が大きく変わり、男女とも団体戦のみとなっている。)

岡田紘味選手(三井住友海上火災) 全日本女子選手権大会出場

岡田選手が昨年度に続いて全日本女子選手権大会に出場を果たし、2回戦に進出した。今年度も多くの試合に県を代表して出場しその実力を発揮してくれた。来年度の更なる飛躍を期待したい。